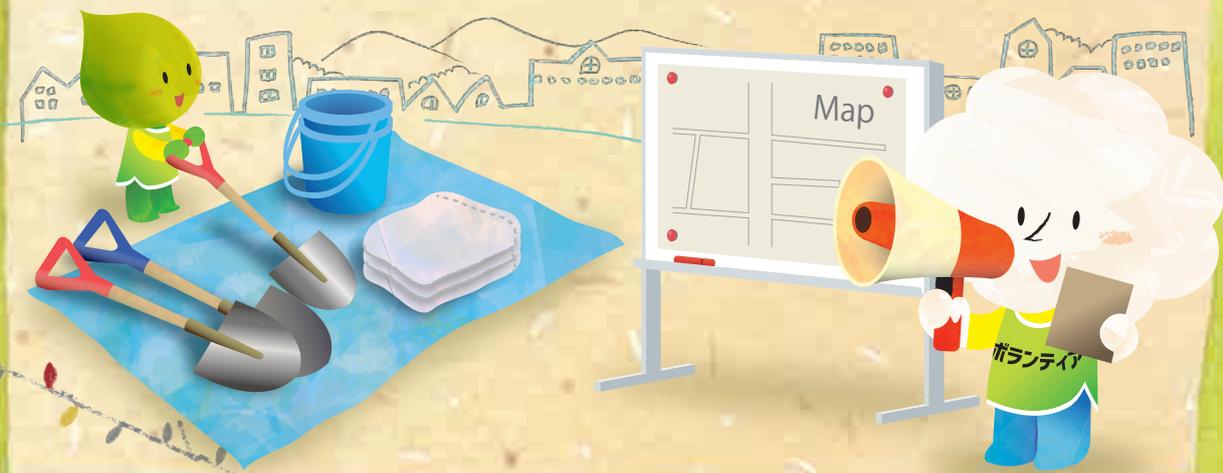


# 災害に備えて訓練中





9月3日(土)

9:30~16:00

# 嘉飯桂地区 災害ボランティアセンター 設置運営訓練

桂川町住民センターの全館を利用して『嘉飯桂地区災害ボランティアセンター設置運営訓練』が開催されました。福岡県社会福祉協議会が主催です。5月から毎月1回行った県社協と3地区社協での会議では、合併後に薄れかけていた横のつながりに橋を架けるきっかけになったのではないかと思います。

当日は、福岡県社協・飯塚市社協・嘉麻市社協・桂川町社協・桂川町社会福祉法人連絡会・桂川町役場・飯塚青年会議所からの参加があり、総勢59名となりました。Fネット(災害支援ふくおか広域ネットワーク)で幹事を務める松尾弁護士(桂川町出身)も会場において、災害時における弁護士の役割についてのご説明をされました。

全般の講演・演習は、NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄さんが務められました。新潟県では、8月3日からの大雨により2,000件を超える床上・床下浸水の被害が発生し、ボランティア

センターを設置している地区があります。現地の指揮を託して、福岡での訓練を予定どおり開催できたことは、信頼できる仲間づくりがあってからこそです。李さんの講義では、優しく語るように、また時にはおもしろく、同感するところも交えて、参加者へ伝授されました。

本物のボランティアセンターかと思うくらい完璧にセッティングされた会場での模擬は、受付・オリエンテーション班を飯塚市社協、ニーズ班・マッチング班・資材班を嘉麻市社協、活動報告を桂川町社協が担当しました。ひとつの班を進めて、李さんからアドバイスを受ける流れで進んでいきました。新型コロナウイルス感染症について、事前にボランティアセンターでのルールを決めておくことが重要なカギになるという認識につながりました。

桂川町社協はこれまでにボランティアセンターの立ち上げを経験したことがなく、桂川町社協の職員数だけでは、運営できないことは明らかであると改めて認識しました。桂川町社会福祉法人連絡会の力を借りて運営することを理想としています。実際、どのようになるか未知の世界ではありますが、桂川町住民の方々のために可能な限り寄り添う支援体制を構築できることを願いつつ、実地訓練を終えました。





10月1日▶12月31日

令和4年度 キャッチフレーズ

支え合い 未来につなげる おくり物

…赤い羽根共同募金



目標額 **3,124,007円**

第1回共同募金運動は、1947(昭和22)年、全国的に展開され、今年で77回目となります。桂川町で集まった募金額に応じて翌年度に実施される身近な地域福祉活動や、社会福祉施設の整備費として配分額が決まります。このような仕組みとなっていることから、赤い羽根共同募金は、自分の町をよくする募金活動と言われています。

令和4年度 桂川町配分額

**2,462,300円**

今年はこのような事業に使用しています

歳末たすけあい事業

**50,000円**

高齢者福祉活動

**536,000円**

児童・青少年福祉活動

**403,000円**

障がい児・者福祉活動

**235,000円**



福祉育成・援助活動事業

**1,238,300円**

### 街頭募金

10月1日から12月31日の運動期間を周知するために、10月3日(月)、トライアル桂川店の駐車場で赤い羽根共同募金の啓発及び募金活動を行いました。各団体の皆さまが、来店されたお客様に声をかけ、10,290円集まりました。この社協だよりを発行した11月15日(火)も同様に募金活動を行いました。

募金へのご協力と共に、一緒に啓発及び募金活動にご協力いただける方は、下記事務局まで、ご連絡をお願いいたします。



今後の街頭募金予定：12月15日(木) 15時～17時 トライアル桂川店

### 託児ボランティア養成講座

平成23年度から始まった託児ボランティア養成講座は、今年で12回目となりました。皆様からの善意により集まった募金が、桂川町に配分され、実施している事業の一つです。



全4回からなる講座では、子育て支援に関わる第1歩となる機会を作りだしています。今年度の講演では「おもちゃ病院」の先生にお出でいただきました。動かなくなったおもちゃが元気になり、それを受け取った子どもの喜ぶ笑顔を見て、先生も元気をもら

うとお話されました。日本赤十字社福岡県支部の馬場氏からは、避難所での体験談やAEDを使用して乳幼児の心肺蘇生法を学びました。図書ボランティア布っ子さんの指導で参加者は苦戦しながらも、小物入れを作りました。最終日は、Wa-Waさんの託児体験です。お母さんと離れて、泣いてしまう子どもたちの気持ちは計り知れませんが、とても愛おしいものです。



来年度も開催予定にしておりますので、ぜひ参加をよろしくお願いいたします。

問合せ先：共同募金会桂川町支会/桂川町社会福祉協議会 Tel.65-2271・Fax.65-4555  
共同募金の使いみち情報：[www.akaihane.or.jp](http://www.akaihane.or.jp) ●赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください。



# 福祉部活動の紹介



## 桂ヶ丘区福祉部 & 土師六区福祉部



10月1日(土)に桂ヶ丘区福祉部、10月3日(月)に土師六区福祉部で、コミュニケーション麻雀を行いました。どちらも何度か実施

したことがあり、『賭けない・飲まない・吸わない』の3原則とこの麻雀の効果を復習し、スタートです。まず、数牌と字牌をきれいに並べ、すべてそろっているかを確認します。この作業は勝ち負けなしではありますが、各チームとも一番早くに並べたい気持ちが自然と起こるのか、想像しているよりもあっという間に終わってしまいます。次は、数牌になれるように、マンズ・ソウズ・

ピンズの3種類からチームで話し合って、1種類を選び、表を上にして手前に並べます。サイコロ2個を振り、足した数と同じ数になるだけの牌を裏返していき、全部が裏返しになったチームが勝ちとなるゲームです。最後は、手元に4枚配り、5枚目の牌であがる麻雀です。どれを揃えようか、また必要ないかを話して、コミュニケーションが高まります。いろいろなあがり方があるため、時には見逃してしまうこともあります。経験のある方が参加して各チームにいと大変心強くなります。



## 土師二区福祉部 & 土師三区福祉部

10月6日(木)に土師二区と土師三区福祉部の合同で、飯塚済生会病院の協力により健康教室を開催しました。血圧測定・栄養相談・医療相談の3部門を作り、これまでの健康教室を縮小しての実施となりましたが、楽しみにしていた参加者は各々に専門家の説明と助言に耳を傾けられていました。



## 平山二区福祉部

10月24日(月)は、平山二区福祉部でヤクルト健康教室を開催しました。平山一区からも参加がありました。この教室は他地域の福祉部でも好評です。『生きている腸』のお話は皆さんの関心が高く、排出する便は見えない身体の中のバロメーターです。トイレが済んだ後、すぐに流すのではなく確認してから流す習慣を身に着けることで、体調の変化にも気づけるようになるのではないのでしょうか？

### 社協より

ここ近年は新型コロナウイルス感染症に伴い、桂川町の福祉部活動が停滞せざるをえない状況となりました。ワクチン予防接種を4回まで受けた方も多くなり、少しずつではありますが福祉部活動を再開している地域も出てきています。桂川町主催の介

護予防教室や社協の出前講座を取り入れ、感染予防対策にも力を入れています。まだ出口の見えないところではありますが、閉じこもりがちになっていた方々を以前のように自宅から誘い出し、ちょっとした会話で気持ちの不安を軽くできるようにと願いながら、社協としての支援活動を行います。



# 学童保育所の紹介



10月31日現在、桂川学童は193名、東学童は48名で、毎日元気に過ごしています。コロナ禍で夏休みの行事も少なかったですが、恒例行事の1つに製作があります。

今年の桂川学童の夏の製作では、布バッグやポーチに思い思いの絵を描き、とてもすてきな作品ができました。高学年のクラスでは、クラフト用紙で地球儀を作りました。



▲献血バス見学

東学童では、日本赤十字社より献血の出前講座を行いました。子ども達にクイズ形



▲献血センターの職員による説明

式で分かりやすく教えていただいたので、子ども達は意欲的に参加していました。

また献血の必要性、大切さがわかるDVDや献血バスや献血運搬車も見学しました。献血を全く知らなかった子ども達も献血がどれだけ大切であるか勉強になったことと思います。

## 令和5年度 学童保育所の入所案内

**募集** 桂川学童保育所／220名 桂川東学童保育所／50名

**対象** 町内小学校に在籍する1年生から6年生で、その保護者が就労、病気介護などにより、家庭での保育が受けられない児童

**保育日** 平日、土曜日、学校の振替休日、春・夏・冬休み

**時間** 平常保育 放課後～18時30分

一日保育 8時～18時30分

**利用料** 4,000円／月・1人(2人以降2,500円／月・1人)

※その他おやつ代、保護者会費等負担あり※利用料減免制度あり

**申込用紙** 12月12日(月)～配布

各学童保育所・桂川町社会福祉協議会・役場住民課・子育て支援課・町内幼稚園・保育所(園)

**期間** 令和5年1月4日(水)～20日(金)※定員になり次第締切。桂川町社会福祉協議会、各学童保育所

**その他** 夏休みのみの利用は定員に達していない場合のみ募集。詳細は「広報けいせん令和5年5月号」に掲載予定



## 「献血」は命をつなぐボランティア

交通事故による負傷や病気による手術など、血液を必要とする患者さんは、毎日たくさんおられます。しかし、血液は人工的に造ることができない上、長期保存もできません。皆さんの善意の献血によって、多くの患者さんの命が救われます。命をつなぐボランティア「献血」に若い世代をはじめ、皆さんのご協力をお待ちしています。

**期日** 1月27日(金)

**時間** 10時～15時30分(休憩12時30分～13時30分)

**場所** 総合福祉センター「ひまわりの里」

**年齢** 男性／17～69歳 女性／18～69歳

**体重** 男女共50kg以上

**回数** 男性／年間3回以内 女性／年間2回以内

※血圧の薬を複数剤服用されていてもできますが、合併症がなく、血圧が安定している方に限ります。また、医師の判断により、ご遠慮していただく場合があります。※初めての方は、本人を確認できる証明書(運転免許証、健康保険証・学生証など)をご持参ください。

### 令和4年度献血者数

	5月26日	10月3日
受付	82名	66名
献血者数	70名	54名





# お知らせ

## 2023年(令和5年) カレンダー募集

来年(2023年)のカレンダーを集めています。集めたものは、ひとりぐらし高齢者や高齢者世帯など、民生児童委員のご協力のもと、必要としている方へ配布しています。

企業や商店などからいただいたカレンダーのうち、ご家庭で不要なものがありましたら、ぜひ、社協へお持ちください。高齢者に配布するため、数字が大きく印刷されたものがあれば、なお大歓迎です。

また、カレンダーを必要とされている方も、社協へご相談ください。



令和4年8月1日～令和4年10月31日

ありがとうございます  
ありがとうございました



### 香典返し(寄付金)

- 中屋 末吉 清一様(故父) 清範様
- 長野 恵子様(故夫) 修様
- 豆田 原田 里美様(故夫) 徹也様
- 第一豆田 足立 秀子様(故夫) 淑郎様
- 九郎丸 多川 敦子様 (故母) 山本 房子様
- 内山田 井上恵美子様(故母ソノ子様)
- 土師一 原口 利幸様(故妻) 好子様
- 土師二 粕井 寛行様(故妻美智子様)
- 土師三 三宅 利也様(故母スミエ様)
- 土師八 伊藤れい子様(故夫 時之様)

### ●平山二

中園 節男様(故兄) 尚実様

### ●笹尾一

杉下ひろ子様

### ●桂ケ丘

田中 勝武様 (故母) 田中 昌子様

### 初盆返し(寄付金)

- 土居一 高山 孝子様(故夫) 義文様
- 土師二 和智富美恵様(故母ヤヨイ様)

寄付金合計2567,000円

## たすけあい桂川 お楽しみ会のお知らせ

8月にお楽しみ会を開催する予定にしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止いたしました。感染者数も落ち着き、毎年12月の定例会と同時に楽しみ会を実施することに決めましたので、お知らせいたします。

お弁当とお茶を準備いたしますので、必ず申し込みをお願いいたします。

期 日 12月7日(水)

時 間 10時～12時00分

場 所 住民センター 大ホール

対 象 たすけあい桂川の会員

内 容 定例会・プチ運動会(レクリエーション)



## 訃 報

謹啓 当会職員の花岡早織が10月9日に急逝いたしました 突然のお別れに役職員一同 驚きと悲しみがこみ上げる日々が続いており 在りし日の花岡早織さんの姿がたくさん浮かんでまいります 故人が生前に賜りました皆様方の御厚情に対しまして ここに厚く御礼申し上げます

敬具

社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会 会長 田中光朗

## 人権相談ダイヤル

～ひとりで悩まず相談してください～

- みんなの人権110番  
☎0570-003-110  
差別、虐待、ハラスメント等、  
さまざまな人権問題についての相談
- 女性の人権ホットライン  
☎0570-070-810  
女性の人権についての専用相談電話
- 子ども人権110番  
☎0120-007-110  
子どもの人権についての  
専用相談電話
- インターネット人権相談窓口  
<http://www.jinken.go.jp/>  
パソコン、携帯電話、スマートフォンから、  
いつでもご利用いただけます。
- SNS(LINE)による人権相談



## 被表彰者の紹介

九州社会福祉協議会連合会会長表彰を授与された右田よう子氏は、桂川町社会福祉協議会の理事として、15年以上にわたり社会福祉の増進に務められています。

また、令和4年福岡県社会福祉大会で町内施設4名の方々が表彰されました。地域社会と密接な連携を保ち、当該地域の福祉に貢献されています。表彰された皆様、おめでとうございます。

九州社会福祉協議会連合会  
会長表彰 右田よう子氏



福岡県社会福祉協議会会長表彰  
社会福祉事業特別功労者

社会福祉法人ひなの家  
理事長 原 和人氏  
理事 原 裕子氏  
理事 中川 利栄氏

居宅介護支援事業所 明日香園  
管理者・主任介護支援専門員  
大里 華代氏

問合せ・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

このひとに聞きました



うつのみや ひろこ  
宇都宮 広子さん



プロフィール

- ◎年齢 71歳
- ◎住所 平山二区
- ◎趣味 パウンドテニス  
ウクレレ

■聞き手  
河部 寛  
谷口 裕司

9月に「桂川町愛あい子ども食堂」を開設した代表の宇都宮広子さんにお話をうかがいました。

Q1 子ども食堂開設の目的

ボランティアの大人と一緒に活動することで、子どもと大人の信頼関係を築き、子どもたちの居場所作りにつなげたいと思います。また、未来を担う子どもたちが「食べることは生きること」を実感できる場として「命を大切に！」と伝えていきたいです。

Q2 子ども食堂の内容

親子やお友だち、ボランティアの方たちと料理、宿題、勉強、遊びなどを学びながら、楽しく一緒に過ごします。子どもは無

料、大人は300円で参加を呼び掛けています。

Q3 何かお困りのことはありますか

コロナ禍であるので、感染予防を工夫しています。また、活動を行うには経済的な支援が不可欠です。当面は参加費と寄付等で運営する予定です。少しずつでも活動に取り組み、ボランティアの確保と行政の方々とのつながりを保持しながら、続けていきます。

Q4 最後に伝えたいことはありますか

「日々感謝し、喜んで、命を大切に！」人はひとりでは生きていけない。お互いの人権を尊重し、共に支え合う、地域活動が出来れば幸いです。

自分を愛するように隣人を愛せよ

編集後記

夏の暑さから解放され、朝晩がめっきり涼しくなり過ごしやすい日が続いています。又、実りの秋でくだものなどおいしい季節になりました。くだものといえば我が家でも栗畑の大きな

木から実が落ち、栗拾いに季節を感じています。

さて、コロナ禍が続く中、明るいニュースも増えてきました。中でもアメリカン大リーグ・ロサンジェルスエンジェルスの大谷翔平選手の活躍が、日本人として誇りに思います。又、日本各地に於いて、お祭りが3年ぶりに執り行われ賑わいを取り戻しています。桂川町の伝統芸能「土師の獅子舞」も3年ぶりに規模を縮小し、土師老松神社で9月25日に奉納されました。

しかし、子どもの「廻り打ち」は、コロナ禍の影響でできませんでした。子どもたちにとって、2年に1度の「廻り打ち」は、上級生から下級生へ受け継がれていくもので、3年間も行われなくなると覚えている者が少なくなり伝統が途絶えるのではないかと危惧されています。毎年実施できるように、コロナ禍が一日でも早く収束することを願います。

広報部員 穂坂 靖



絵：桂川東学童 大谷 拓士

コロナに負けるな！令和時代のつながり方を考える

9月25日(日)第40回福祉のつどいを開催しました。令和元年度の開催を最後に、新型コロナウイルス感染症による影響で、2年間中止となったイベントです。これまではステージ・バザー・体験・展示などの催しを行っていましたが、今年度は講演会と内容を変更しました。講師を務めたのは、mottoひょうご 事務局長 栗木 剛さん。参加者が眠くならず意識がはっきりしているうちに、一番伝えたいことのお話から進められました。

「人間は死亡率100%の動物。また、順調に年齢を積み重ねるもの。地域や子孫のために、医療費を抑えるのはボランティア。ボランティアは人のためにしているものと思われがちだが、実際は自分自身の健康寿命をのばす脳トレにつながっている。コロナ禍には波があり、小さくなるかもしれないけれど『0』にはならないと思われる。このような状況でも、やれることを計画し、実施することが望ましい。コロナ禍がなくなると想定する3年後から始めようとしたら、年齢も3歳進んでいる。今日より若い日はない」とお話しされました。

講師自身のヤングケアラー(※)の実体験など貴重なお話もお聞きすることができました。参加者のお出迎えからお見送りまで、皆さんの笑いを誘う講演会となりました。



(※)家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども